



海浜美化フォーラム 2013.2/23

つながる森と川と海～自然のままの川が生態系を守る



中村 太士氏

北海道大学 農学研究院・教授
「森・川・海のつながり
～劣化と復元の歴史」

中村先生は、ご専門の生態系と環境保全の立場から写真とデータ表を使って、主に北海道知床半島を中心として自然災害から山と川の保全と生態系のお話をされました。



特に、河川の保全について、川を人為的に蛇行させて生態系を調査した結果、魚類の総数増加があったこと、また、河川への投木実験により、木の根近くは大型の魚が、枝付近では小型の魚類が生息し始め、一年後の調査では生息数が増加した事から河畔や山の環境保全が重要と話されました。



パネルディスカッションでは山と川の環境を保全することが、海の環境保全につながるなど活発な意見が出ました。中村先生には山と川の保全に対する質問が次々に出され、海の環境保全を多方面から学び、中村先生が講演の中で「環境保全は道民自身がかつてより関心を持つことが必要」との事で、参加者の環境保全に関する意識が高まりました。

川口氏(きたネット)と奥谷教授、尾崎副会長を交えてパネルディスカッション

